



速度取締り指針

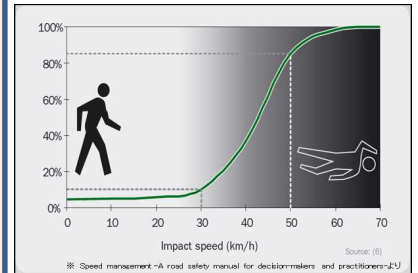
令和6年4月
高崎警察署

高崎警察署の速度取締り重点

重点路線	重点時間帯	区域	規制速度
国道354号	6:00～20:00	柴崎町 下大類町 綿貫町	40km/h 60km/h

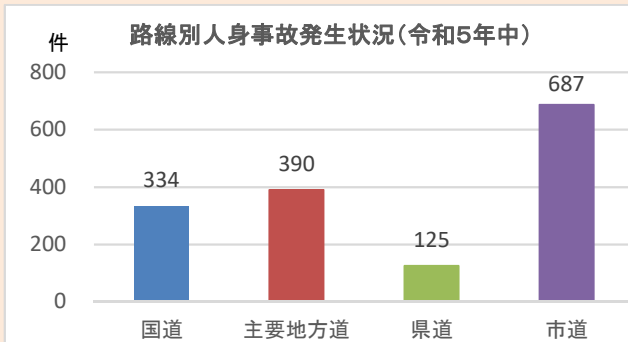
国道354号の道路の形態は、郊外の区間は比較的直線道路が多く、バイパス区間は複数車線で道路幅員も広いことから速度超過に陥りやすく、交通人身事故の発生件数は増加傾向にあることから重点路線としました。その他、国道17号、高崎市道環状線、主要地方道高崎駒形線等の交通事故多発路線において取締りを実施します。

※ 重点路線・時間帯については、事故発生状況により変更します。

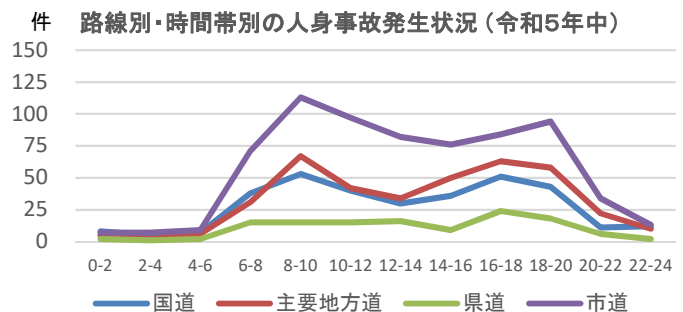


衝突時の速度が30kmを超えると歩行者が死亡する率が急激に上昇します。

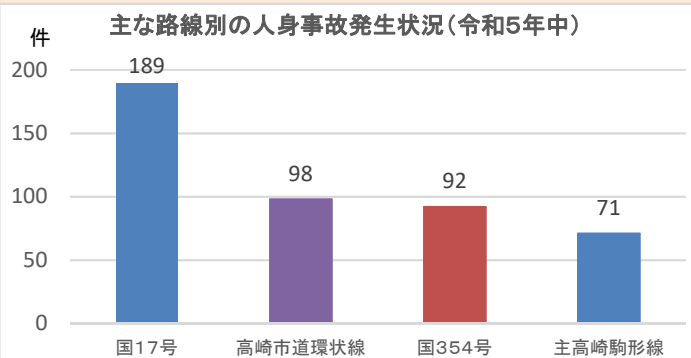
重点路線等における交通事故発生実態



路線別における令和5年中の人身事故発生状況を比較すると、市道、主要地方道、国道、県道の順で多く発生しています。



路線別・時間帯別における令和5年中の人身事故発生状況を比較すると、8時～10時、16時～20時に多く発生しており、発生件数の多い路線ほどその傾向が顕著です。



主な路線別における令和5年中の人身事故発生状況を比較すると、国道17号が多く、続いて高崎市道環状線、国道354号、主要地方道高崎駒形線の順となっています。

重点路線に対する主な交通指導取締り方法

- 交通事故多発路線における取締りの強化
- 登下校時間帯における通学路、生活道路における30キロ規制の定着化を図るため可搬式オービスの活用等による速度取締りの強化
- 交通事故多発時間帯における白バイ、PC等の機動力を活用した指導、取締り、警戒活動の強化

その他の交通指導取締り

- 飲酒運転の根絶に向けた、繁華街周辺における自動車検問の強化
- 繁華街等の駐車違反車両の指導、取締りの強化
- 住民の要望等による危険性、迷惑性の高い事案の解消に向けた指導、取締りの強化
- 中高生、高齢者の自転車事故の抑止を目的とした、自転車利用者に対する指導、取締りの強化